

科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
音楽 I	1	A B C D E F	2	必修選択	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
教科書	Tutti1
使用教材等	プリント、歌唱楽譜、演奏楽譜

科目の目標

学習目標	【知識及び技能】基礎的な楽典知識、音楽史、歌唱や器楽の知識と技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】歌唱や器楽の発表や実技試験を通して表現力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】日頃の演習時間で主体的に活動し、課題に対応する力を身に付ける。
------	--

年間授業計画

学期	単元・単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準
1	・基礎的な楽典を理解することにより、歌唱や器楽の土台となるようにする。 ・日本歌曲の発音、歌詞の意味や発声を体得し、その情景を表現する。 ・校歌を通して、基礎的な発声を身に付ける。 ・イタリア歌曲を通して、発音やイタリア語の歌詞を理解しその情景を表現できるようになる。 ・キーボード演習を通して、基本的な音符休符と指使いを理解し、両手で小品を奏でる。 ・学期末に筆記試験、実技試験(歌唱)	・音名、音符休符 ・花、夏の思い出 ・校歌 ・O sole mio ・初歩的な楽曲の演奏 ・1学期のまとめ 試験	・音名、音符休符が理解できている。 ・花、夏の思い出の歌詞や情景を理解し表現しようとしている。 ・校歌の歌詞を理解して表現しようとしている ・イタリア語の発音や歌の内容を理解し、表現しようとしている ・運指を理解して演奏法を探究しようとしている。
2	・基礎的な楽典を理解することにより、歌唱や器楽の土台となるようにする。 ・日本歌曲の発音、歌詞の意味や発声を体得し、その情景を表現する。 ・ドイツ歌曲を通して、発音やドイツ語の歌詞を理解しその情景を表現できるようになる。 ・ギター演習を通して、弦を押さえて曲を奏でる。 ・学期末に筆記試験、実技試験(歌唱)	・反復記号、小節数 ・浜辺の歌 ・An die Freude ・初歩的な楽曲の演奏 ・2学期のまとめ 試験	・反復記号、小節数が理解できている。 ・浜辺の歌の歌詞や情景を理解し表現しようとしている。 ・An die Freude を通してドイツ語の発音や歌の内容を理解し、表現しようとしている ・ギターの構造を理解して演奏法を探究しようとしている。
3	・基礎的な音楽史を理解する。 ・イタリア歌曲、ドイツ歌曲を通して、発音やイタリア語の歌詞を理解しその情景を表現できるようになる。 ・キーボード演習を通して、連弾に挑戦し発表する。 ・ミュージカル作品について理解し、鑑賞する。 ・学期末に筆記試験、実技試験(歌唱)	・ベートーヴェン等有名な作曲家の人生と主要楽曲について ・帰れソレントへ、春への憧れ ・初級レベルの楽曲で連弾 ・歴史、作品、構成について	・ベートーヴェン等有名な作曲家の人生と主要楽曲について理解している。 ・帰れソレントへ、春への憧れの発音や表現を理解し実践しようとしている。 ・連弾を理解し、2人で合わせて弾けるようになる。 ・歴史、作品、構成について理解し鑑賞している。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。